

2018年(平成30年)8月20日発行

第424号

発行責任者

いこいの村聴覚言語障害センター
所長 岩本 幸子

編集

いこいの村編集委員会
〒629-1242

綾部市十倉名畑町久瀬谷2番地

TEL (0773) 46-0101

FAX (0773) 46-0610

<http://www.kyoto-chogen.or.jp/ikoi>



きょうされん

全国大会に向けて

『ともに生きる ともに作る
夢ある未来へ 京都から』

きょうされん全国大会は9月21日(22日)に、京都国際会議場で開催されます。京都での開催は、19年ぶり4回目となります。大会当日は、京都らしく参加者をお抹茶の体験等でおもてなしします。栗の木寮の仲間(利用者)はその準備に余念がありません。栗の木寮の仲間の参加だけでなく、法人が一体になって元気になる大会を目指します。

障害のある人もない人も分け隔てなく、安心して暮らせる社会の実現に向け、全国から集まる4000人の皆さまとの交流が、今から楽しみです。

(いこいの村・栗の木寮
呉竹一人)

「きょうされん」とは、旧称「共同作業所全国連絡会」の略称(共作連)です。

現在は全国の障害のある人の働く場やグループホーム、相談支援事業所等が集まった組織で、いこいの村・栗の木寮も加盟しています。きょうされんに加盟の事業所は約1900か所あります。



大会マスコットキャラ
「まいこ〜」



お抹茶で
おもてなしのリハーサル



選ばれなかった案の中に『宝』がありました。「いこいの村で働く職員は宝。職員は利用者に接することにより成長できるので宝。利用者やその家族はいこいの村があることで居場所があり、いこいの村は宝」と添えられていました。

さまざまな苦難を、みんなで知恵出しながら乗り越えたいです。

先日の西日本豪雨で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

豊

梅の木寮では、毎年度末に「来年の一字」を職員から募集します。どんな気持ちで利用者の支援を頑張るのか、頭に描きながら様々な案を出し合い、職員・利用者で投票して決定します。

一昨年度は『笑』、昨年度は『楽』、今年度は『豊』になりました。

『豊』は国語辞典に「満ちたりていて不足のないさま」とあります。物やお金だけでなく、健康、文化、心、夢が満ち溢れるよう、豊かな人間関係の中で一人ひとりが自身を高められる、そんな思いを『豊』に込めました。



いこいの村
梅の木寮
施設長 記 由美

栗の木寮の短期入所が利用しやすくなりました

いこいの村・栗の木寮では現在2床の短期入所を設けています。栗の木寮の長期入所に向けて利用される方、近隣地域にお住まいの方、自立した生活を目指す方の練習として、また介護者であるご家族の休息（レスパイト）として利用される方など、その目的や利用方法は様々です。



洋室

綾部市内で、障害者の方が利用できる短期入所はいこいの村のみです（2018年時点）。そのため、これまで短期入所を利用したくても諦めておられたり、他市の施設を利用されるため、いつも利用している通所施設への通所が叶わないなど、栗の木寮での短期入所への期待をお聞きする機会も増えてきました。

栗の木寮はろう重複障害者の入所施設です。全国に先駆けて、昭和57年に開所。その後、多くの方々に利用いただいておりますが、近年は地元綾部市内在住で聴覚障害以外の障害の方々の利用も少しずつ増えています。

地域の方の身近な施設に



和室

普段の生活の延長となる施設利用

あるご利用者は、昼間は市内の通所施設に行かれます。夜は栗の木寮に泊まり、また翌朝通所施設に行かれます。

昼間の様子を栗の木寮職員に話してください。

また、いつもとは違う場所での食事を楽しみにされている方もあります。

「将来は家族と離れて、グループホームなどで自立した暮らしがしたい」という目標をお持ちの方が、ひとつのステップとして栗の木寮を利用される方もあります。

普段の生活の一部に栗の木寮の短期入所を利用いただいているように感じます。

これからも綾部市内唯一の障害者の入所施設として、皆さまから求められる役割が担える「栗の木寮」を目指していきます。

（いこいの村・栗の木寮
前川 恵子）

短期入所に関するお問い合わせは、
電話 0773-46-0102 ファクス 0773-46-0903（いずれも栗の木寮直通）

お気軽にお問合せください。

「天田地方聴覚言語障害センター開所20周年記念集会



・大江町手話サークル創立40周年お祝い会」

2018年7月1日（日）、福知山市の大江町総合会館にて、20周年と40周年の節目となる記念集会を合同で開催し、聴覚言語障害者と関係者、約150人が集いました。

当日は、大江町手話サークルによる手話劇「大江のかぶ」で、会場が大いに盛り上がった後、天田地方聴覚言語障害センター（現：福知山市聴覚言語障害センター天田事務所）の開所に至るまでの経過や関係者の思いなど、リレートークで振り返り、今後の課題や展望を確認しました。



1998年3月1日



センター設立の願いを掲げて、京都府全域から1,000人が大江町に集結した「第24回耳の日記念集会」



「センター開所前、主人が病気で受診した時、手話通訳がないため、話が通じず苦労した」と、当時の様子を語られた倉橋さん。



センター開所後、聴覚障害者の生活支援の集まりである「木曜日の会」が始まりました。定期的、継続的に集まることで、様々な生活体験を共有し、個々の健康を守ることや、社会生活力の高まりに重要な役割を果たしてきました。このような生活支援の取組みは京都北部の各地に広がり、今や「地域活動支援事業」として全国にも広がっています。

「一市三町（福知山市・三和町・夜久野町・大江町）合併前の2004年、センターがなくなるのではと、心配でした。三町の聴覚障害者協会、難聴者協会、手話サークル、要約筆記サークルで、存続を望む要望書を行政に提出し、天田事務所として存続することになり安心しました」と語られた阪本さん。



福知山市では、今年4月から「福知山市手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例」が施行されました。障害のある人もない人も分け隔てられることなく、全ての市民が互いに尊重しあうことのできる「ともに幸せを生きる」社会の実現のためには、多くの市民に理解を広めることが重要です。

記念集会の翌週の西日本豪雨災害では、京都府北部の各地にも被害があり、天田事務所も床上約50cmが浸水しました。今回で3度目ですが、そのたびに地域の方々に支えられ、また、地域の拠り所として共に歩んできました。これからも、一人ひとりの思いに寄り添いながら、地域の方々と一緒に歩みを進めていきたいと思ひます。

（福知山市聴覚言語障害センター 長岡 英樹）

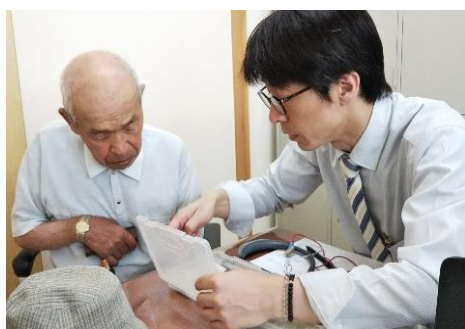


耳の相談日って？

いこいの村では、自由な「コミュニケーション」が保障される地域を目指して事業に取り組んでいます。そのひとつが、昭和58年に始めた『耳のこと何でも相談会』です。現在では形が変わり、『耳の相談日』として開催しています。事業を行うなかで、ご利用者やご家族から、「耳が遠くて人の中に出たくなかった」「家族からテレビの音が大きいと言われ不快な思いをしている」との声をお聴きし、何かお手伝いができないかと、始めたのが『耳の相談日』で

す。京都補聴器センターから認定補聴器技能者にきていただき、聴力測定、補聴器・聞こえの相談を無料で実施し、必要な方には医療機関受診をお勧めしています。

日本では、補聴器に対して医療保険の適用がありません。ただし、聴力の状態によっては、福祉制度を利用することで、負担を軽減することができます。



「よう聞こえるようになりました」

な声をださんならんで困る」と言われた。

↓補聴器の無料貸し出しを受け、補聴器の使い方に慣れ、納得して購入できて良かった。

・補聴器が聞こえにくくなった。補聴器をつけているときに「ピーピー」と音がなるので困る。

↓耳穴に入れるゴムを交換して、付け方の練習をすると「ピーピー」の音がなくなり、聞き取りやすくなった。

聞こえにくく困っているのはあなた一人ではありません。『耳の相談日』では、そんな方たちのお話をお聴きします。まずは、『耳の相談日』でご相談ください。

(高齢福祉部介護支援課

福嶋 敬子)

《耳の相談日》

第3木曜日 午後

TEL 46-0155
FAX 46-0175

『耳の相談日』に
来られた方の声

・「大勢の人の中や、電話の音が聞こえず苦痛だ」家族から「大き

高齢者の方にもおすすめ!

やさしい献立
Vol.6

ほわほわ♪やわらか♪
お好み焼

☆材料(一人分)

・キャベツ …… 156g
・はんぺん …… 15g
(1/4枚)
・豚肉 …… 20g
・紅しょうが …… 2g

・サラダ油 …… 適量

【A】

・お好みミックス粉 …… 50g
・水 …… 50cc
・卵 …… 1/4個
・長芋 …… 25g

【B】

・お好み焼きソース
・マヨネーズ
・かつお節
・青のり

☆作り方

①キャベツはみじん切りにする。長芋は、すりおろす。はんぺんはさいの目切りにする。

②豚肉は、あらかじめ炒めて冷ましておく。

③ボウルにAの材料を入れて泡立て器でよく混ぜる。

④③の生地にキャベツ、はんぺん、炒めた豚肉、紅しょうがを入れてさっくりと混ぜ合わせる。

⑤フライパンを中火で熱し、サラダ油を引き、④の生地を流し入れ両面焼く。

⑥お好みでBのトッピングをのせて完成。



(総務部 給食課

川端つぐみ)

◆ご寄付 ありがとうございます◆

★★
4月1日～7月20日受付分（1000円以上 順不同）

永本 宏昭	様	綾部市上延町	50,000 円
たかお商店	様	綾部市十倉名畑町	コーヒーセット
井関 恵喜	様	綾部市五津合町	50,000 円
福岡建設(株)	様	綾部市睦合町	飲料セット
西嘉山 恭介	様	綾部市八津合町	20,000 円
山家地区民生			
児童委員協議会	様	綾部市東山町	5,000 円
福井石油(株)	様	綾部市睦合町	コーヒーセット
クロスロード			
土田大介	様	綾部市淵垣町	飲料セット
(株)丸起商店	様	綾部市西町	ゆずレモン2ケース
森本屋	様	綾部市八津合町	飲料セット
(株)山寅組	様	福知山市	お菓子詰め合わせ
(株)柴橋商会			
京都支店	様	京都市伏見区	お菓子詰め合わせ
国際ソロプチミスト			
京都-弥生	様	京都市中京区	タオル・洗剤など
井上 昭憲	様	兵庫県豊岡市	50,000 円
笠井 くみ子	様	兵庫県川西市	福島ひまわりの種
(株)コーナン薬局	様	大阪府寝屋川市	飲料セット

★★

皆さん
待たせてごめんナ祭

いこいの村まつり 2018

～豊かなコミュニケーションGo!!～

日付：2018年10月21日(日)
時間：午前11:00～午後3:00



ボランティア・模擬店募集中！

【お問い合わせ】

いこいの村まつり担当：吉木・呉竹・富田

電話：0773-46-0101

ファクス：0773-46-0610



◆後援会

ご入会ありがとうございます◆

★★

4月1日～6月30日受付分（1000円以上 順不同）

芝原 キ又枝	様	綾部市五泉町	継続
瀧野 トシエ	様	綾部市睦合町	継続
村上 チエ	様	綾部市老富町	継続
佐原 一徹	様	綾部市睦寄町	入会
四方 藤一	様	綾部市橋上町	入会
崎山 郁子	様	舞鶴市	継続
宮嶋 博之	様	舞鶴市	継続
藏田 義昭	様	舞鶴市	継続
内藤 和子	様	舞鶴市	継続
米田 泰人	様	京丹後市	入会
岩崎 信裕	様	大阪府守口市	継続

★★



～耳の相談日～

・ 9月20日(木)
・ 10月18日(木)
・ 11月15日(木)

午後から

※要予約



〈お問合せ先〉 いこいの村・とくら福祉センター

電話：0773-46-0155 ファクス：0773-46-0175

新規採用職員募集！

※職種 介護職員 等

詳細は、社会福祉法人京都聴覚言語障害者福祉協会 HP で

★★

※梅の木寮・デイサービスの介護職員のパートも同時募集しています。

【お問い合わせ】 いこいの村 総務部

電話 (0773) 46-0101

ファクス (0773) 46-0610

自宅が気になります

〓 梅の木寮で暮らし始めた細井さん〓

「おはようございます」

職員の朝礼に元気に参加されているのは、5月から梅の木寮に入所された細井健良（ほそいけんりょう）さんです。いつも職員を気にかけて、「えらかったら頼りにしてよ」等と言ってくださいます。



5月の誕生日にお祝いの寄せ書きをもらいました。

大切な思いのある

〓自宅へ



細井さんは、1936年（昭和11年）5月に綾部市内で産まれました。24歳から60歳まで仕事をしながら農業をし、定年後も奥様と一緒に畑仕事をしておこなっていました。

しかし、十数年前に事故で大けがをされ、そして奥様は数年前に他界され自宅での一人の生活が段々難しくなってきたため、デイサービスや短期入所等を利用してこられました。そして、いこいの村梅の木寮に入所され、約2ヶ月が経ちました。

細井さんは「ここにおったら安心や」と言いながらも、時々、奥様と一緒に暮らした自宅が気になり「家はどうなってるんやろ。いつぱん帰ってこんと」と一人で出かけようとされることがあります。そんな時は、職員が付き添います。「昔はこの川で魚を獲ったんや」「若い頃は綾部まで歩いて行った」等と職員に昔の話をいろいろしながら、懐かしい我が家の様子を見て帰られます。



きれいな花が咲くかなあ。



これからを共に考える



細井さんにとって梅の木寮でやりがいのあること、楽しいことは何か、現在、模索中です。細井さんにとって、また、他の生活者にとって希望のなかう、楽しい梅の木寮を目指して、これからも頑張っていく予定です。

（いこいの村梅の木寮

渡辺 元樹）

6月30日、梅の木寮の「鮎ユニット」の外出で、京綾部ホテルのレストランに行き、皆で楽しく昼食をいただきました。



『何事にも感謝です』

いこいの村・とくらの家の開所時から、とくらの家で生活されている酒井

キ又さんは、7月28日に一〇〇歳の誕生日を迎えられました。

酒井さんは、高等尋常小学校卒業後、農家の仕事をするのが嫌だったと、看護師になるために単身京都市内へ行き、念願の看護師になりました。その後、当時国鉄マンだったご主人と出会い結婚、ご主人の転勤にあわせて様々な土地で生活してきましたと話されます。

「私は、アホやで人一倍努力してきました」が酒井さんの口癖です。



息子さんから母の日のプレゼント

とくらの家での暮らし



酒井さんは毎日、他の利用者さんと一緒にラジオ体操や洗濯物たたみ、食事の支度などをされています。聞こえにくいので、補聴器を使用されていますが、聞き間違いも時折あります。

また、皆さんで何かする時にリーダーシップをとろうとして、他の方と言い合いになることがあります。その時は職員が間に入って、説明したり話題を変えたりしています。

とくらの家では利用者同士で口喧嘩になることがよくあります。認知症や加齢による物忘れや感情を押さえられないことが原因でもあると思いますが、それより今まで暮らしてきた習慣、環境が違ったため、洗濯物たたみ一つにしても、やり方が人それぞれなので、言い合いになるのだと感じています。お互いに言いたいことが言い合える、口喧嘩のできるところの家は、自分らしくいられるところではないかと思っています。

一〇〇歳になるじい



バラ園へ外出

「長生きの秘訣を教えてください」と酒井さんにお尋ねすると、

「何事にも感謝すること」と話してくださいました。

「今後の目標何でしょうか」と伺うと、

「一二〇歳までがんばりたい。

一〇〇歳言うのだけでも恥ずかしいけれど……」

とのお返事でした。

目標目指して毎日を健康で楽しく過ごしていただけるように職員もお手伝いをします。

(とくらの家 寺尾 智子

垣内 優美)

いこいの村・とくらの家
『認知症あんしん
サポート相談窓口』
を開催しています

「おばあさん何か変なんやけど、誰に相談したらよいんやろか」
「認知症やろか？病院へ行った方がよいんやろか」
「どんな風に認知症の方に声をかけたらよいんやろ」

そんな時にとくらの家に相談に来ませんか。

ぜひ、気軽にお立ち寄りください（無料です）

毎月第3水曜日の午後は、専門の職員がいます。

〈問い合わせ先〉 とくらの家

0773-46-0771



＜開催日時＞

8月22日
9月19日
10月17日
11月21日
12月19日
1月16日
2月20日
3月20日



いいい弁当

独自事業の配食サービス

いいいの村では、昨年4

月から独自の配食サービスを開始しました。綾部市の配食サービスは申請後、必要かどうかを検討、受理されてからの利用となるので、サービス開始までに時間がかかりました。いいいの村独自の配食サービスは、利用者が体調不良等で食事の準備が難しくなった時など、急なニーズにも迅速に対応できます。そのため、利用者に好評をいただき、今では市の配食サービスの利用数を上回っています。

独自事業の配食サービス

利用にあたって

- ・65歳以上の方、または、障害のある方
- ・自宅に伺い、聞き取りをした上で、いいいの村が配食サービスが必要と判断した方
- ・配達エリアは、
山家・口上林全域。
中上林は、市野瀬地区まで
奥上林は、小仲地区まで

今後ご要望に応じて範囲を広げていく予定です

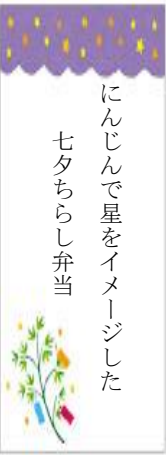
TEL 0773-46-0155

（綾部市在宅介護支援センター）

芦谷ひとみ

にんじんで星をイメージした

七夕ちらし弁当



じょうずに夏を乗り切りましょう

元気に暮らす

夏真っ盛り皆様いかがお過ごしでしょうか。体調はいかがですか？ 夏バテは「なんとなくだるい」といった夏の体の不調の総称です。現在の夏バテは、冷房の効いた室内と年々暑くなる炎天下を行き来することで、その温度差に身体がうまく対処できず、身体が混乱した状態になるといった複雑なものになってきています。じょうずに冷房を活用していただきたいのですが、冷房で体調が悪くなる人は「冷房より除湿」を心がけましょう。湿度が低いと涼しく感じます。さらに風があると体表から熱が奪われて涼しくなるので扇風機を併用するのもオススメ。直接冷たい風が体にあたるようにすると、体の表面の熱が奪われ続けて体が疲れてしまうので、扇風機も冷房も直接体にあたらないようにお気をつけ下さいね。

（梅の木寮 医務課 木枝めぐみ）

みんなの手話『食べる』

片方の手で茶碗を持つように、もう片方の手はお箸のようにチョキの形にして、食べる動作をします。

☆チョキの手が指三本になったら「（フォークで）食べる」という意味にもなります。

